

工事監理の状況(木造住宅用)【記載例】

※建築物の内容、工事監理の方法により必要に応じて、適宜、記載内容の修正、加除をしてください。
 ※表中の(/)には、確認した日付を記入してください。

	確認を行った部位、材料の種類等	照合内容	照合を行った設計図書	設計図書内容について設計者に確認した事項	照合方法	照合結果(不適の場合には建築主に対して行った報告の内容)
敷地の形状、高さ、衛生及び安全	敷地	・高さ、形状、寸法 ・道路との接続の状況 ・設置の状況(H= m)	配置図	無・有(内容:)	・土工事の工程終了後に現場で照合(/)	適・不適
	擁壁		配置図 矩計図 配置図	無・有(内容:) 無・有(内容:) 無・有(内容:)	・土工事の工程終了後に現場で照合(/)	適・不適
	排水管、排水溝	・管径、形状 ・設置状況	配置図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	支持地盤	・種類() ・地耐力(KN/m ²)	断面図 構造詳細図 仕様書	無・有(内容:)	・ 試験の結果と仕様書等との確認(/)	適・不適
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)の種類、品質、形状及び寸法	木材	・材料、種類、規格、品質、形状、寸法、仕上げ	矩計図 各階伏図	無・有(内容:)	・受入時の検査及び工程終了時に現場で照合	適・不適
	コンクリート	・材料、種類、規格、品質、形状、寸法、仕上げ ・四週圧縮強度、塩化物量、アルカリ骨材反応等	矩計図 基礎伏図	無・有(内容:)	・調査計画書による書類審査及び受入時の検査並びにコンクリートの試験結果との確認 検査を行った者の氏名()	適・不適
	鉄筋	・材料、種類、規格、品質、形状、寸法、仕上げ	矩計図 基礎伏図	無・有(内容:)	・シートによる書類審査及び受入時の検査及び工程終了時に現場で照合	適・不適
	屋根材	・材料、形状、寸法	小屋伏図	無・有(内容:)	・受入時の検査及び工程終了時に現場で照合	適・不適
	外壁材	・材料、形状、寸法	矩計図 立面図	無・有(内容:)	・受入時の検査及び工程終了時に現場で照合	適・不適
	接合金物	・材料、形状、寸法	各階伏図	無・有(内容:)	・受入時の検査及び工程終了時に現場で照合	適・不適
	アンカーボルト	・材料、形状、寸法	基礎伏図	無・有(その内容:)	・受入時の検査及び工程終了時に現場で照合	適・不適
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料の接合状況、接合部分の形状等	基礎鉄筋の接合部	・接合状況 ・継手の状況 ・重ね長さ	矩計図 基礎伏図	無・有(内容:)	・工程終了時に配筋状況を確認(/)	適・不適
	土台と基礎との接合部	・接合状況	矩計図 基礎伏図 各階伏図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/) ・アンカーボルトの確認(/)	適・不適
	柱・土台接合部	・接合状況	矩計図 各階伏図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/) ・ホルダウ金物の確認(/)	適・不適
	柱・はり接合部	・接合状況	各階伏図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に金物の取付状況を確認(/)	適・不適
	筋かいの接合部	・接合状況	各階伏図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に金物の取付状況を確認(/)	適・不適
	壁の打ち付け	・接合状況	各階伏図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	管柱接合部	・接合状況	矩計図 各階伏図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に金物の取付状況を確認(/)	適・不適
建築物の各部分の位置、形状及び大きさ	基礎	・位置・形状・寸法 ・配筋の本数・配置 ・配筋のかぶり厚さ	配置図 各階平面図 矩計図 小屋伏図 基礎伏図 構造詳細図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	土台	・位置・形状・寸法	土台伏図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	柱	・位置・形状・寸法 ・通し柱の状況	各階床伏図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	梁	・位置・形状・寸法	各階床伏図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	筋かい	・位置・形状・寸法	各階床伏図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	壁・耐力壁	・位置・形状・寸法	各階床伏図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	床組・火打材	・位置・形状・寸法	各階床伏図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	小屋組・振れ止め	・位置・形状・寸法	立面図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	建築物全体	・平面形状・断面形状 ・建築物の高さ	配置図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
	廊下	・位置・形状・寸法	各階平面図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
階段	・位置・形状・寸法	各階平面図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適	
構造耐力上主要な部分の防錆、防蟻措置の状況	・地面から1m以上の部分の土台・柱・筋かい・壁 ・防蟻・防蟻措置の状況	立面図 矩計図 使用建築材料表	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/) ・材料(表示マーク)の確認(/) ※クロレピリスを用いた材料は使用していない。	適・不適	
特定天井に用いる材料の種類並びに当該特定天井の構造及び施工状況					適・不適	

居室の内装の仕上げに用いる建築材料の種類及び当該建築材料を用いる部分の面積	内装仕上げ材	・仕上げ材の種類 ・仕上げ材の状況	平面図 矩計図 内装仕上げ 使用建築材 料表	無・有(内容:)	・受入時の検査及び工程終了時に現場で照合(/) ・認定シールの貼付(火気使用室) (/)	適・不適
	室名:居間、食事室、台所、寝室、(他の室がある場合は、室名を追記すること。) の床・壁・天井	・下地の種類及び面積 ・接着剤の種類及び面積 ・仕上げ材の種類及び面積 ・塗料の種類及び面積 (種類及び面積の記入。F☆4以外) 種類 面積 m ² 種類 面積 m ² 種類 面積 m ² 種類 面積 m ² 種類 面積 m ²		無・有(内容:)	・受入時の検査及び工程数量時に現場で照合(/) ・表示マークの確認(/) ・品質証明書及び出荷証明書との照合(/)	適・不適
	家具・建具	・建具及び造り付け家具の種類及び形状	建具表	無・有(内容:)		適・不適
天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げの材料の種類及び厚さ	台所の天井及び壁	・仕上げ材の種類 ・仕上げ材の状況	平面図 矩計図	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
開口部に設ける建具の種類及び大きさ	外部開口部	・寸法・形状	各階平面図 立面図 仕様書	無・有(内容:)	・工程終了時に現場で確認(/)	適・不適
建築設備に用いる材料の種類及びその照合した内容並びに当該建築設備の構造及び施工状況(区画貫通部の処理状況を含む。)	換気設備	・形状・寸法・規格・機器の性能(換気風量)	配置図 各階平面図 矩計図 構造詳細図 圧力損失に係る計算書 設備図	無・有(内容:)	・受入時の製品確認及び取付時に現場で確認(/)	適・不適
	配管・配線	・種類・形状・寸法 ・配管状況		無・有(内容:)	・受入時の製品確認及び取付時に現場で確認(/)	適・不適
	給水設備	・種類・形状・寸法 ・配管状況		無・有(内容:)	・受入時の製品確認及び取付時に現場で確認(/)	適・不適
	給湯設備	・種類・形状・寸法 ・機器の設置状況		無・有(内容:)	・受入時の製品確認及び取付時に現場で確認(/)	適・不適
	排水設備	・種類・形状・寸法 ・配管状況		無・有(内容:)	・受入時の製品確認及び取付時に現場で確認(/)	適・不適
	浄化槽	・形状・寸法 ・名称() ・型式番号(第号)	浄化槽調書	無・有(内容:)	・受入時の製品確認及び取付時に現場で確認(/)	適・不適
	電気設備	・形状・寸法・規格 ・機器の性能 ・設置・施工後検査	設備図	無・有(内容:)	・受入時の製品確認及び取付時に現場で確認(/)	適・不適
ガス設備	・形状・寸法・規格 ・機器の性能 ・設置・施工後検査	設備図	無・有(内容:)	・受入時の製品確認及び取付時に現場で確認(/)	適・不適	

【備考】

住宅用火災警報器(日本消防検定協会鑑定品)を寝室、階段に設置
作動確認済(/)

第四面関係

- 申請建築物(建築基準法第7条の5及び第68条の20第2項(建築物である認証型式部材等に係る場合に限る。)の適用を受けず、かつ、建築士法第3条から第3条の3までの規定に含まれないものを除く。以下同じ。)に関する工事監理の状況について記載してください。ただし、特定工程に係る建築物にあつては、この申請を直前の中間検査を申請した建築主事に対して行う場合には、確認から直前の中間検査までの工事監理の状況について記入する必要はありません。また、それ以外の場合で、確認から直前の中間検査までの工事監理の状況についてこの書類に記載すべき事項を記載した書類を別に添付すれば、その部分について記入する必要はありません。
- 申請建築物が複数の構造方法からなる場合には、それぞれの構造の部分ごとに記載してください。
- 接合状況のうち、鋼材等の金属材料の溶接又は圧接部分に係る内部欠陥の検査、強度検査等の確認については、当該部分に係る検査を行った者の氏名及び資格並びに当該検査に係るサンプル数及びその結果を記載してください。
- 材料のうち、コンクリートについては、四週圧縮強度、塩化物量、アルカリ骨材反応等の試験又は検査(以下「試験等」という。)を行った者、試験等に係るサンプル数及び試験等の結果について記載してください。
- 「特定天井に用いる材料の種類並びに当該特定天井の構造及び施工状況」は、建築基準法施行令第39条第3項、第81条第1項第3号、第82条の5第7号又は第137条の2第1号ハの規定の適用を受ける部分について記載してください。
- 「居室の内装の仕上げに用いる建築材料の種類及び当該建築材料を用いる部分の面積」は、建築基準法施行令第20条の7第1項第1号に規定する内装の仕上げに用いる建築材料の種類並びに当該建築材料を用いる内装の仕上げの部分及び当該部分の面積について記載してください。
- 「天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げ」は、建築基準法第35条の2の規定の適用を受ける部分について記載してください。
- 「開口部」は、防火設備の設置が義務付けられている部分、建築基準法第28条第1項の規定の適用を受ける部分及び同法第35条の適用を受ける部分について記載してください。
- 「照合結果」は、「適」「不適」のいずれかを記入し、工事施工者が注意に従わなかった場合には「不適」を記入してください。また、不適の場合には建築主に対して行った報告の内容を記載してください。
- 消防法(昭和23年法律第186号)第9条の2第1項に規定する住宅用防災機器の位置及び種類その他ここに書き表せない事項で特に報告すべき事項は、備考欄又は別紙に記載して添えてください。
- この書類に記載すべき事項を含む報告書を別に添付すれば、この書類を別途提出する必要はありません。